令和８年度　長崎市立西山台小学校　学力向上プラン

【第５次総合計画】
私たちは「未来を創る人を育み、だれもが学び、楽しみ続けられるまち」をめざします。
個別施策Ｇ１－１

【長崎市教育振興計画】
２　確かな学力の向上

【小中９年間を通して育てたい子ども】
○　学ぶ意欲があり、学習習慣を身に付けている子ども
○　基礎的・基本的な知識や技能を身に付けている子ども
○　自分の考えをまとめ、表現できる子ども
○　学んだことを活用し解決方法を導くなど、問題解決力を身に付けている子ども

【成果指標】
全国学力・学習状況調査の結果で全国平均以上の項目の割合
目標値　75%

【合い言葉】
「チーム Nagasaki」
徹底・継続で子どもは伸びる

【学校教育目標】
心豊かでたくましく、夢に向かって挑戦できる子どもの育成

【めざす子ども像】
○　進んで学び、自分の考えを表現できる子ども
○　礼儀正しく、思いやりのある子ども
○　体を鍛え、粘り強い子ども

【校内研究を通した学力の向上】
○「個別最適な学び」と「協働的な学び」のバランス
・個に応じた支援
・学習訓練（学習規律）の徹底
○「ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業」の充実
・UD の視点を通して、「わかった」「できた」と言える授業改善の継続
・UD の視点を取り入れた安心できる環境や人間関係の構築
・視覚化(ICT の活用)の推進。
○対話・探究・表現をキーワードにした授業改善
・「対話的な学び」や自分の思いや考えを伝える場を位置づけた授業づくり
・「探究課題の設定」「情報収集」「整理・分析」「まとめ・表現」を繰り返し、探究的な見方・考え方を働かせる単元・授業づくり
○一人一台端末の活用
・キュビナの活用推進（宿題、自学等で 100 問/週）

【基礎・基本の確実な定着】
・教科書問題の完全実施とチェック
・「習熟の時間」の授業時間内確保(反復と評価)
・チャレンジタイムの充実
・学習用具、音読、家庭学習など、家庭と学校で連携・共通理解した取組（よくわかる！西山台小学校）
・読書指導の強化(年間冊数：低 100・中 80・高 50)
・規則的、継続的な家庭学習の取組（毎日の宿題＋自主学習　低 30 分・中 60 分・高 90 分）
・ＴＴの充実
・テストの記録と 100 点になるまでやり直し

【あじさいスタンダードを参考にした授業づくり】
・西山台スタイルの徹底指導
・「めあて」から「まとめ」までの板書の構造化
・的確な発問や指示
・書く活動を重視する授業

【思考力・表現力・活用力の育成】
○　教育活動全般における言語活動・体験活動の充実
○　各教科等における資料活用能力の育成
○　授業での話合い活動の充実
○　発展的な学習への取組
○　明らかになった各学年・学級の弱点について、集中的に指導し克服を図る。

【６年生　全国学力・学習状況調査からみた児童の実態（課題）】
１　国語
○　目的に応じて、必要な情報を見付けること（読むこと）
○　話や文章の種類とその特徴について理解すること（知識及び技能）
○　引用して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること（書くこと）
○　相手に伝わるように、理由や事例などを挙げながら、話の中心が明確になるよう話の構成を考えること（話すこと・聞くこと）
２　算数
○　直方体の箱の形を構成する面についての理解（図形）
○　示された情報を基に、数量の関係に着目して、条件に合う時間を求めること（数と計算・測定）
○　基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶこと（数と計算・変化と関係）
○　示された二つの表から、集計に誤りのある項目を見付け、その根拠を表の中の数と言葉を用いて記述すること（データの活用）
○　異分母の分数の大小を判断し、その理由を数や言葉を用いて記述すること（数と計算）

【５年生　県学力調査結果からみた児童の実態（課題）】
１　国語
○　登場人物の気持ちについて叙述を根拠にすることで、具体的に思い描くこと（読むこと）
○　学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく書くこと（知識及び技能）
○　文の中における修飾と被修飾との関係を捉えること（知識及び技能）
○　登場人物の気持ちが変化した理由を、叙述を基に捉えること（読むこと）
２　算数
○　基準量、比較量を捉え、数量の関係を図を用いて適切に表現すること（変化と関係）
○　長方形を組み合わせた図形について、示された面積の求め方を解釈し、その求め方に基づいて立式すること(図形)
○　示された場面を基にして、倍の求め方を記述すること（数と計算）
○　除法の結果について、日常生活の場面に即して判断すること（数と計算）